

2009 年度活動報告

2010 年 8 月 18 日

NPO 法人犬と猫のためのライフポート

【受入・譲渡・飼育について】

2009 年度は犬 548 頭、猫 968 頭の譲渡を行いました。(表 1、表 2)

犬(表 1)

年度	受入	譲渡	死亡
2007 年度	473	365	34
2008 年度	618	596	32
2009 年度	665	548	116

猫(表 2)

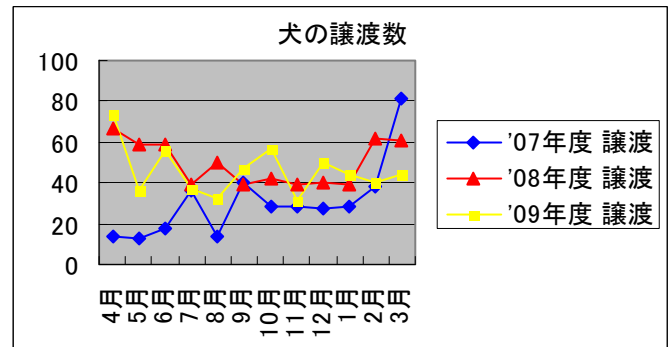
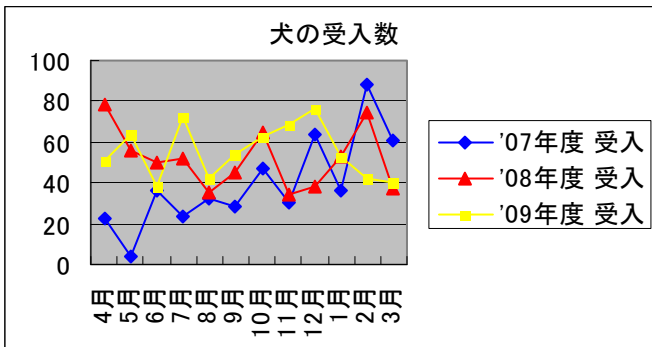
年度	受入	譲渡	死亡
2007 年度	1,156	902	260
2008 年度	1,075	886	167
2009 年度	1,273	968	292

犬は 2008 年度を上回る受け入れを行いました死亡数も多く、譲渡は 2008 年度を下回る結果となりました。これは行政での犬の殺処分が減少傾向にある中、これまで受け入れることの難しかった既に感染症に罹っていると思われる子犬の受入を行ったためです。受け入れなければ確実に殺されてしまう子犬たちにも手を伸ばした結果と言えます。

しかしながら、毎年少しずつ増えている少年犬・成犬問題に対する対策は十分ではありませんでした。2008 年度末から行なっているトライアル飼育制度は、年間数頭の少年犬・成犬の譲渡のきっかけにはなっていますが、根本的な問題解決には至っていません。2010 年度は譲渡会開催地域の見直しなどによる子犬の譲渡数の向上によって、そもそも少年犬・成犬問題を作らないことと、少年犬・成犬に的を絞った譲渡ノウハウの構築を目指しています。

犬の月別受入と譲渡(表 3)

犬		4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
'07 年 度	受入	23	4	36	24	32	28	47	30	64	36	88	61	473
	譲渡	14	13	18	36	14	40	28	28	27	28	38	81	365
'08 年 度	受入	78	56	50	52	35	45	65	34	38	53	75	37	618
	譲渡	67	59	59	39	50	39	42	39	40	39	62	61	596
'09 年 度	受入	51	64	38	73	42	54	63	69	76	53	42	40	665
	譲渡	74	36	56	37	32	47	57	31	50	44	40	44	548



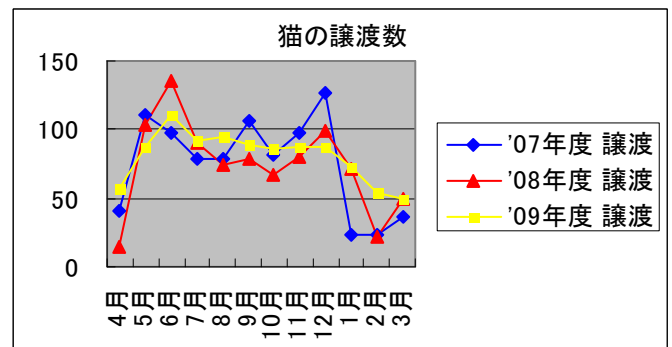
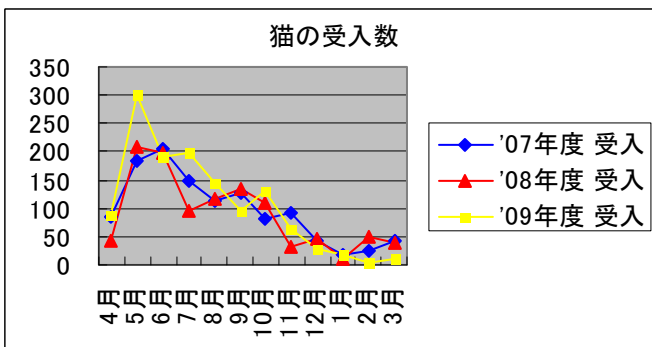
猫では出産シーズン後のピークである4月～9月の半年で1,000頭を超える受け入れを行いました。反面この期間に譲渡できた猫は530頭にとどまりました。

例年を大きく上回る受入で過密飼育状態が発生して猫風邪による鼻炎や皮膚病が蔓延し、譲渡が滞り、さらに過密飼育が発生するという悪循環におちいった時期でもありました。数字からもこの期間に受け入れた猫たちのシェルター平均滞在日数が例年を大きく上回っています(表5)。

2010年度は譲渡能力の強化と過密飼育状態の解消を平行して行う予定です。

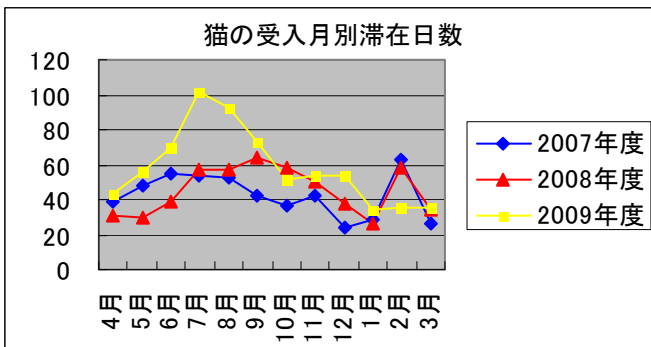
猫の月別受入と譲渡(表4)

猫		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
'07年度	受入	84	185	204	147	114	126	81	91	43	16	24	41	1156
	譲渡	41	110	98	78	79	106	81	98	127	24	24	36	902
'08年度	受入	44	210	197	95	115	133	108	32	45	9	49	38	1075
	譲渡	14	103	136	91	74	78	67	80	99	72	22	50	886
'09年度	受入	89	299	192	197	145	96	130	63	27	19	4	12	1273
	譲渡	57	87	110	92	95	89	86	88	88	73	54	49	968



猫の受入月別平均滞在日数(表 5)

猫	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年平均
'07年度	39	48	54	53	53	43	36	42	24	29	63	27	43
'08年度	30	30	38	57	57	64	58	50	37	27	58	34	45
'09年度	43	56	70	102	92	73	51	54	54	34	36	36	58



ライフポートでは千葉県柏市のアニマルシェルターと各地での移動譲渡会で面会を行なっています。特に譲渡会はシェルターに来られない方にも面会の機会を持っていただけるため、シェルターでの面会に比べて1回(1日)あたりの譲渡数が多くなっています。譲渡会の本格運営から3年が経ち、数字からも「譲渡会は有効である」と言えるようになりました(表 6、7)。

特に犬の場合、ライフポートで譲渡するような中型犬を飼える環境というのはある程度限られており、これまで行って来た関東近郊での面会だけでは十分な里親さんを集めることができない現状があります。幸い年度初めから行った名古屋市での譲渡会は毎回好評をいただき、4回の譲渡会で68頭(平均17頭)を譲渡することができました。また数字からも譲渡会での成績がよいため、シェルター遠方の、埼玉県、新潟県、長野県などの地方での譲渡会を積極的に行う予定です。

犬の面会方法の効率(表 6)

犬	シェルター 平日譲渡 数	土日のシェ ルター譲渡 数	譲渡会譲 渡数	土日のシェ ルター面会 日数	譲渡会回 数	土日のシェ ルター平均 譲渡数	譲渡会の 平均譲渡 数
'07年度	78	128	136	91	21	1.4	6.5
'08年度	147	233	206	81	35	2.9	5.9
'09年度	175	221	147	89	18	2.5	8.2

猫は犬に比べて飼育環境の制限が少ないため、犬ほど面会場所での譲渡効率の差はありませんが有効な方法であることは間違いありません。2010 年度は譲渡会 1 回あたりの効率向上を目指します。

猫の面会方法の効率(表 7)

猫	シェルター 平日譲渡 数	土日のシェ ルター譲渡 数	譲渡会譲 渡数	土日のシェ ルター面会 日数	譲渡会回 数	土日のシェ ルター平均 譲渡数	譲渡会の 平均譲渡 数
'07 年度	254	432	216	94	22	4.6	9.8
'08 年度	289	456	141	94	20	4.9	7.1
'09 年度	330	486	152	102	22	4.8	6.9

【死亡数の増加について】

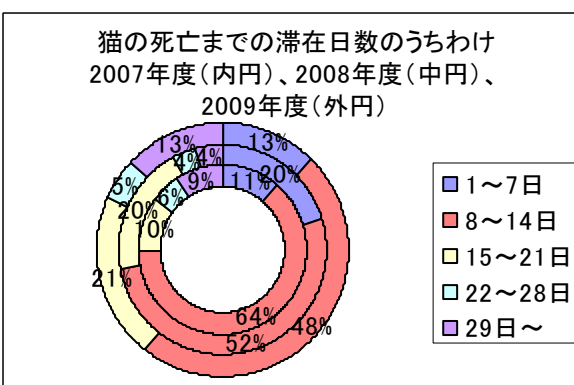
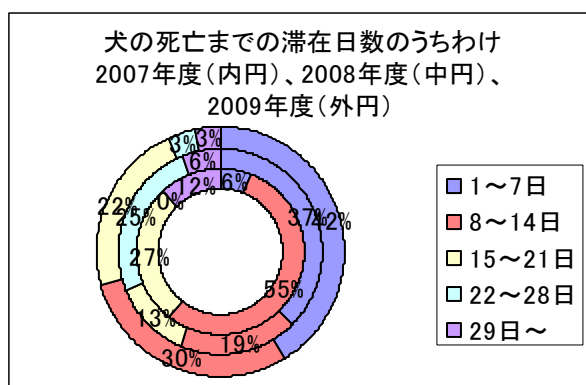
ライフポートは従来から、多少感染症などのリスクがあっても連れてこなければ 100%殺されてしまうのですから、少しでも望みがあればというコンセプトで受入を行ってきました。2009 年度もこうした考えで受入を行ないましたが、特に犬で例年以上に多くのリスクの高い子の受入を行いました。受け入れ後2週間以内に死亡した子の割合が急増しているのも、元々感染症ウィルスにさらされていた子が多かったためと思われます(表 8)。

犬の受入から死亡までの日数(表 8)

犬	2007 年度	2008 年度	2009 年度
1～7 日	2	12	48
8～14 日	18	6	34
15～21 日	9	4	26
22～28 日	0	8	4
29 日～	4	2	4

猫の受入から死亡までの日数(表 9)

猫	2007 年度	2008 年度	2009 年度
1～7 日	31	34	37
8～14 日	178	86	141
15～21 日	29	34	62
22～28 日	16	6	16
29 日～	26	7	38



【運営効率について】

2008年度は5,670万円の支出に対して1,425頭の譲渡で、1頭を譲渡するための活動費用は約4.0万円、2009年度は6,920万円の支出に対して1,516頭の譲渡で活動費用は4.6万円でした(表10)。1頭を譲渡するのにかかった費用は2008年度と比較して6,000円上がってしまったことになります(15%増)。

支出と譲渡(表10)

年度	犬猫合計譲渡数	支出(万円)	1頭あたりの費用(万円)
2008年度	1,425	5,670	4.0
2009年度	1,516	6,921	4.6

もちろん支出の中には飼育環境改善のための増改築など、これまで出来なかったことの費用も含まれており、一概に適正額を出すことは出来ません。しかし一頭でも多くの命を救うためのNPO法人として継続的な活動ができるよう、これからも効率にこだわった運営を行なって参ります。

【ライフボート中部について】

当団体とライフボート中部は別団体ではありますが、相互協力関係にありますので簡単にご報告させていただきます。

ライフボート中部は2009年度1年間で233頭の猫の受入を行いました(うち譲渡189頭、死亡32頭)。小さな飼育小屋に数人のスタッフと多数のボランティアさん、協力動物病院、支援者の皆様に支えられて活動しておりますが、2009年度685万円の支出に対して189頭の譲渡ですので、1頭譲渡するまでの費用は3.6万円となり、単純な運営効率では当団体を上回りました。

もちろん犬を扱っていないことや活動規模の違いなど、単純に比較できない面が多くありますが、当団体とはまた違ったアニマルシェルターのモデルケースになる可能性もあり、今後とも協力関係を継続して参ります。

ライフボート中部：<http://www.lifeboat-chubu.net/>

【広告・宣伝活動について】

ライフボートはお陰さまで、大手検索エンジン2社(Yahoo!/Google)で「子犬 里親」「子猫 里親」などの犬や猫の里親になりたい方が使うキーワードでは上位表示されています。しかしこうした検索を行う方は元々動物の飼育に対する意識が高く、ライフボートがわざわざ言わなくとも何処かで不幸な動物の里親になってくださった方かもしれません。

殺処分をゼロにするためには犬や猫を飼う方すべてに「里親になる」という選択肢を知っていた

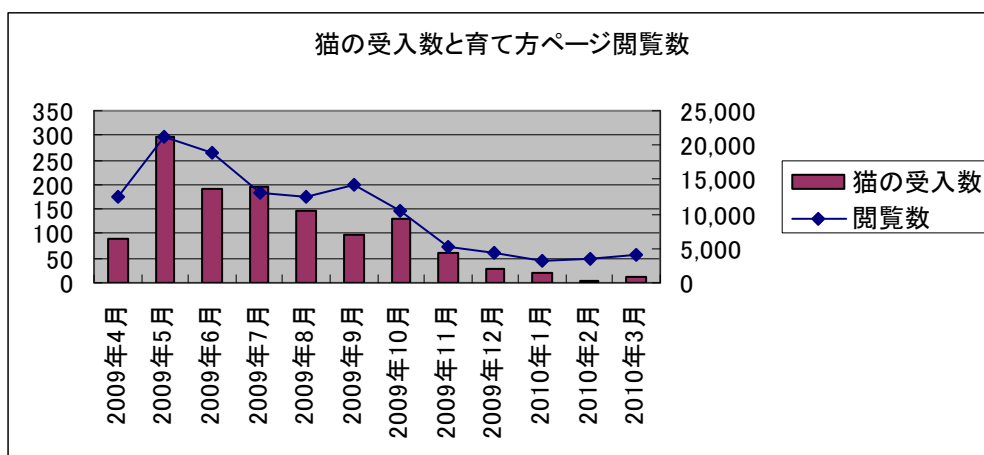
く必要があります。こうした問題意識からネットだけによらない里親募集活動の第一歩として 8 月から譲渡会告知ポスターを作り、ボランティアさんに掲示をお願いする試みを開始しました。開始間もないこともありまだ大きな効果は出ていませんが、申し込みの半分がポスターによるものだった譲渡会もあり、可能性のある手段としてこれからも展開していきます。

【ホームページでの啓発活動などについて】

当団体ホームページで最もよく閲覧されているページの一つに『子猫を拾ってしまったら～赤ちゃん猫・子猫の育て方～』というコンテンツがあります。

猫の出産は春先に多いのですが、このページの閲覧も春先に多く、また閲覧数と猫の受入数が相関関係にあることから、当団体が直接手を伸ばせない猫に対して一般の方に手を伸ばしてもらう手助けとして一定の効果を発揮していると考えられます。

ライフポートには子猫の育て方に限らず、これまでの活動を通しての様々なノウハウやデータが蓄積されています。こうしたノウハウやデータをコンテンツ化し、広く殺処分の実態を知っていただくための入口として公開していく予定です。



以上のとおり 2009 年度の活動についてご報告させていただきます。

今後とも皆様のご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。